



スマートフォンで
広報たじみを
持ち歩きなさい!

編集発行 多治見市役所 企画部 秘書広報課
〒507-8703 岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地 TEL:0572-22-1111
FAX:0572-24-3679 E-mail: hisyokoh@city.tajimi.lg.jp
http://www.city.tajimi.lg.jp/



多治見市緊急メールに登録してください
携帯電話に緊急情報を送信します
https://service.sugumail.com/tajimi



▲工房横の間宮さんの作品が所狭しと置かれた部屋。ジャズが流れる素敵な空間



▲バーナーでガラスを溶かしリングの置物に軸を付ける作業。時間とタイミングの勝負



▲窯から出したばかりのガラスは柔らかくすぐ変形するため熟練の技が求められる

SPECIAL TALK



輝く技術

クラフト作品にも

自分らしさを



間宮香織さん

ガラス工芸作家
スタジオ カルダー
(ガラス工房 STUDIO CALDER)

多摩美術大学の絵画学科で抽象立体クラスを専攻した私は、卒業後、ジュエリーデザイナーとして働いていましたが、デザインするだけでは満足できず、当時教室に通い興味を持ち始めていた「ガラス」を本格的に学ぶため、富山ガラス造形研究所（以下、研究所）に入りました。平成9年当時、ガラス工芸を学べる学校は珍しく、研究所には全国からガラス作家を目指す生徒が集まっていました。設備、講師など、全てが一流で揃えられ、ここでの3年間は大変充実したものでした。

結婚して、夫の実家がある多治見で工房を持ち制作を始めました。学生の頃はアート作品を中心に制作していましたが、独り立ちしてからは、販売しやすい実用性のあるクラフト作品を作っています。ただし、そうしたクラフト作品にも「自分らしさ」を吹き込むようにしています。

多治見は窯業のまちだけあり、窯を持つ人に優しいです。また、お値打ちでおいしいカフェや永保寺や修道院など見るところも多くありとても気に入っています。ガラス工芸には多種多様な技法があり、全てを極めるのは困難ですが、試行錯誤しながら人を感動させられる作品を作り続けたいと思います。

企画展情報 8月4日(土)～26日(日)

セラミックパークMINOショップ&ギャラリーMINO

人口と世帯数の動き

平成30年6月1日現在

総人口

111,240人 (前月比 -3人)

男 54,033人 (前月比 -35人)

女 57,207人 (前月比 +32人)

世帯数

46,329世帯 (前月比 +56世帯)



文化財み～つけた

にじゅうにやび 音羽町1 音羽御蔵社
二十二夜碑

「二十二夜」は旧暦7月22日の夜に月の出を待ち、願をかける民間信仰で、当地域でも親しまれた行事の一つです。とりわけ女性の参加が多く、子宝祈願や安産祈願が中心だったといえます。月が出るまで立って待つので「お立ち待ち」とも呼ばれ、浴衣に着替えて提灯をともし二十二夜参りをしたという話も残っています。